

ドラマチックに歴史を生きた人々の想いを感じながら、歩いてみたい

醍醐天皇の生母・藤原胤子をはじめ、美しく才ある小野小町、戦国武将・豊臣秀吉などのゆかりの地。波乱に満ちた人生に思いを馳せながら歩きたい。



醍醐寺 仁智門

六地藏名物 コレが人気の おみやげ

● 随心院 (拝観受付横の売店) すいしんいん (はいかんうけつけよこのばいてん)

お守り・小町グッズ
小野小町の邸宅跡としても知られる随心院では、朱印帳や一筆箋、お茶、絵馬など、さまざまな可愛らしい小町グッズが買える。また、院内の静かな庭園を眺めながら写仏もでき、自分の手で描いた仏様や小町を祈祷してお守りにも仕上げられる。その他、縁結びや学業のお守りもあって、お土産に最適。

● 写仏・写経 2,000円 (拝観料・浄写料・祈祷料・経本込)、御守袋料 400円 (希望者のみ) 小町グッズ 400円〜 9時〜16時30分 (写仏・写経受付 14時まで) 寺行事による休みあり 075(571)0025

ここにも寄りたい

凜とした清浄なる空気に包まれる静寂の寺

上醍醐 しみだいで

醍醐寺の下醍醐から女人堂を経て、約1時間、山道を登ると醍醐寺開創の地である上醍醐に至る。9世紀半ば過ぎ、聖宝・理源大師(しょうぼうりげんだいし)が醍醐水の霊泉を得て山上に小庵を結んだのが始まりとされる。国宝の薬師堂、清瀧宮拝殿など数々のお堂が点在。また、平成20年(2008)8月の落雷により、准胝堂(じゆ



上醍醐への山道



下醍醐の観音堂(旧大講堂)

んていどう)が焼失。再建されるまでの間、西国三十三所第11番札所の朱印や納経の受付は、下醍醐の観音堂(旧大講堂)で行われている。

9時〜16時(冬期は15時まで) 冬期期間: 12月第1日曜日
の翌日〜2月末日(変更の可能性あり)
大人600円、中・高校生400円
(醍醐寺拝観券をお持ちの場合は、各100円割引)
075(571)0002 (2020年6月現在の情報です)



醍醐水

見る 楽しむ 歳時記

- 1月14日 日野裸踊り(法界寺)
- 2月23日 五大力士仁王会 一五大力士(醍醐寺・金堂)
- 3月最終日曜 はねず踊り(随心院)
- 3月下旬〜5月中旬 豊宝館春期特別展(醍醐寺・豊宝館)
- 4月第2日曜 豊太閤花見行列(醍醐寺)
- 5月15〜21日 准胝観音菩薩ご開扉法要(醍醐寺・観音堂)
- 8月5日 醍醐寺万灯会(醍醐寺)
- 8月17日 一言観音夏季大祭火渡り修行(一言寺)
- 10月10日 秋祭り(山科区内の各神社)
- 11月中旬〜下旬 秋のライトアップ・本尊ご開帳(随心院)
- 12月18日 しまい観音供(中風除けお粥接待)(一言寺)

(2020年6月現在の情報です)

おすすめスポットガイド SPOT GUIDE



福祉活動に力を注いだ順教尼の心が宿る寺

▲ 佛光院 ぶつこういん

「堀江六人斬り事件」で養父に両腕を切断された名妓「妻吉(つまぎち)」、後の大石順教尼によって昭和26年(1951)に再建。平安の昔から勤修寺の塔頭(たちゅう)としてあった由緒ある寺。順教尼が書かれた書画の作品なども展示されている。

9時〜16時30分 無料 (室内) 075(571)0503



平安の女流歌人・小野小町ゆかりの寺

● 随心院 すいしんいん

弘法大師の八代目弟子・仁海を開祖とする、平安中期(991)に創建された真言宗善通寺派の本本山。平安の女流歌人・小野小町が住んだ邸宅跡に建てられた寺でもある。3月頃には、はねず(薄紅色)の梅で名高い梅園が公開される。

9時〜16時30分 無料(室内) 大人500円、中学生300円 ※梅園入場券500円、3月1日〜3月末日公開 075(571)0025



世界文化遺産の寺は、桜の名所

● 醍醐寺 だいでじ

旧奈良街道の東にそびえる醍醐山、その全体が寺域となる広大な真言宗醍醐派の総本山。荘厳華麗な国宝・金堂、応仁の乱の戦火を免れた京都府下最古の木造建物・五重塔などが、歴史の重みを伝えてくれる。「花の醍醐」として知られるように、境内に咲き誇る桜でも有名。

9時〜16時(冬期は15時まで) 通常期 三寶院・豊宝館・伽藍 大人800円、中・高校生600円 (春期・秋期) 三寶院・豊宝館・伽藍 大人1,500円、中・高校生1,000円 075(571)0002 (2020年6月現在の情報です)



平安王朝の優美を今に伝える庭

● 勤修寺 かじゅうじ

通称「かんじゅうじ」とも言われるこの寺は、平安時代(900)に醍醐天皇の生母・藤原胤子(たねこ)の菩提寺として創建。水室池(ひむろいけ)を中心とした池泉回遊(ちせんかいゆう)式庭園は「名勝庭園」として指定。ことに睡蓮と花菖蒲が咲き誇る池は、雅やかな美しさ。

9時〜16時 大人400円、小・中学生200円 075(571)0048



菅原道真の怨霊を恐れた帝が眠る墓

● 醍醐天皇 後山科陵 だいでてんのうのちのやましなのみさざき

醍醐寺が陵の管理と祭祀を継続しているため、他の多くの山陵のように所在を失わず、京都でも位置が確定できる数少ない天皇陵。醍醐天皇は、父帝・宇多天皇が寵愛する菅原道真を太宰府に左遷後、味方や身内を次々に亡くし、道真を怨霊だと恐れたと伝えられている。



「一心に祈ると願いが叶う」という寺

● 一言寺 いちごんじ

正式名称を金剛玉院(こんごうおういん)といい、坂の上にひっそりと佇む静かな寺。「ただ一心に祈ると願いが叶う」とされたのが一言寺の名の由来。本堂の軒下に書かれている「ただのため、仏にうそはなきものぞ、二言といわぬ一言寺かな」という言葉が印象的だ。

8時〜17時 無料 075(571)0011